

反グローバリズム再考
—国際経済秩序を揺るがす危機要因の研究—

グローバルリスク研究

平成30年3月



公益財団法人日本国際問題研究所
The Japan Institute of International Affairs

はしがき

本報告書は、当研究所の平成 29 年度外務省外交・安全保障調査研究事業（総合事業）「反グローバリズム再考——国際経済秩序を揺るがす危機要因の研究」プロジェクトにおいて実施した「グローバルリスク」研究会の研究成果をまとめたものです。

近年、英国の欧州連合（European Union: EU）離脱や米国の自国第一主義政策に象徴されるように先進国において反グローバリズムの動きが強まり、既存の政治・経済秩序を否定するポピュリズムや排外主義が台頭し、国内そして国際秩序を動揺させています。その要因としては、経済の低成長、格差の広がりなどの経済的な諸問題や先進国への大量の移民や難民の流入があげられます。移民・難民問題は、シリア内戦や中東域内大国の覇権争い、アメリカのプレゼンスの低下による中東の不安定化が大きく影響しています。

本プロジェクトにおいては「反グローバリズム」の根底にある世界経済の構造変化を把握すると同時に、表層に現れた政治現象の連関を経済学、地政学、政治学、社会学、地域研究から分野横断的に探求し、より複雑化するグローバルなリスクに迅速に対応乃至は未然に回避するためにリスクを分析し、戦略的な対応策を検討して参ります。本プロジェクトは、主に経済問題を扱う「世界経済研究会」（主査：稲葉延雄・リコー経済社会研究所常任参与）と、地政学的問題を扱う「グローバルリスク研究会」（主査：立山良司・防衛大学校名誉教授）で構成され、共同ワークショップやシンポジウム等を通して有機的に各研究会の研究成果を共有、連携して参りました。

「グローバルリスク」研究会では、地域の不安定化がグローバルなリスクを拡大し、国際社会への脅威となる事例として、本年度は（1）「中東情勢・エネルギー問題」と、（2）ヨーロッパ及び中東をまたぐ難民や移民問題によって引き起こされた「ポピュリズムの伸長と人口移動問題」を主に分析してきました。

本報告書に表明されている見解は全て各執筆者のものであり、当研究所の意見を代表するものではありませんが、本書が「国際経済秩序」、「中東情勢」、「人口移動問題」を様々な観点から検討していく上での意義ある一助となれば幸いです。最後に、本研究に終始積極的に取り組まれ、本報告書の作成にご尽力をいただいた執筆者各位、その過程でご協力いただいた関係各位に対し、改めて深甚なる謝意を表します。

平成 30 年 3 月

公益財団法人 日本国際問題研究所
理事長 野上 義二

研究体制

主 査： 立山 良司 防衛大学校名誉教授

<中東情勢・エネルギー研究部会>

委 員： 池田 明史 東洋英和女学院大学学長
今井 宏平 日本貿易振興機構アジア経済研究所地域研究センター
研究員
小野沢 透 京都大学大学院文学研究科教授
小林 良和 日本エネルギー経済研究所 化石エネルギー・電力ユ
ニット ガスグループマネージャー 研究主幹
近藤 重人 日本エネルギー経済研究所中東研究センター研究員
鈴木 恵美 早稲田大学地域・地域間研究機構主任研究員
吉岡 明子 日本エネルギー経済研究所中東研究センター主任研究員

<ポピュリズム・人口移動問題部会>

委 員： 石川 真作 東北学院大学経済学部准教授
小林 周 日本エネルギー経済研究所中東研究センター研究員
佐久間孝正 東京女子大学名誉教授、東京通信大学教授
浪岡新太郎 明治学院大学国際学部准教授
保坂 修司 日本エネルギー経済研究所中東研究センター研究理事

委員兼幹事： 相 航一 日本国際問題研究所所長代行
中川 周 日本国際問題研究所研究調整部長
貫井 万里 日本国際問題研究所研究員
担当助手： 石塚 陽子 日本国際問題研究所研究助手

(敬称略、五十音順)

目 次

序 章	深まる中東の危機と「シリア内戦後」をめぐるパワーゲーム	立山 良司…………… 1
第 1 部 中東情勢とエネルギー問題		
第 1 章	サウジアラビアの現体制の安定性に関する考察	近藤 重人…………… 13
第 2 章	IS 駆逐後のイラクの統治構造 ——多様化するローカル・アクター	吉岡 明子…………… 25
第 3 章	岐路に直面するイラン・イスラーム共和国体制 —— 2017 年末抗議デモの特徴と原因	貫井 万里…………… 39
第 4 章	スィー・スィー政権に対する武装勢力による脅威の考察	鈴木 恵美…………… 63
第 5 章	ポスト「イスラーム国」時代のトルコの外交	今井 宏平…………… 75
第 6 章	イスラエル政軍関係と聖俗問題 ——「イスラエル国防軍」と「ユダヤ防衛軍」の狭間	池田 明史…………… 85
第 7 章	グローバルリスクとしての中東エネルギー情勢	小林 良和…………… 97
第 8 章	トランプ大統領の登場とアメリカの中東政策	小野沢 透…………… 109
第 9 章	エルサレム問題とトランプ米政権	立山 良司…………… 129
第 2 部 ヨーロッパにおけるポピュリズム・人口移動問題とその背景		
第 10 章	フランスにおける宗教的多元主義と過激化 ——エスニックブラインドな共和国モデルから治安の多文化主義へ	浪岡新太郎…………… 143

第 11 章	「移民国」ドイツにおける反イスラームと文化の問題	石川 真作……	157
第 12 章	イギリスのムスリム・コミュニティと教育 ——「集住」と「隔離」に揺れるイギリス	佐久間孝正……	169
第 13 章	リビアにおける「非統治空間」の発生 ——交錯する過激主義組織と人口移動	小林 周……	179

